

## ● 西方音楽館友の会主催コンサート (2020年9月～2021年3月まで)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため客席数を減らします。  
 西方音楽館 定員 25名 近江楽堂(東京オペラシティ内) 2021年1月15日の公演のみ 定員 40名  
 お申し込みは、西方音楽館まで。

### ●9月19日(土) 14:30～ 田部井辰雄 ギターリサイタル

ゲスト:小川和隆

ギターによるバロック作品(バッハ、ヘンデルなど)  
 アルハンブラの思い出、カプリチオアラベ(ターレガ)その他  
 二重奏 ギター(映画音楽「馬あぶ」より:シヨスタコーヴィッチ)



### ●10月3日(土) 14:30～ 久元祐子 ピアノリサイタル

モーツァルト:幻想曲 ハ短調 KV475、ピアノソナタ ハ短調 KV457  
 ベートーヴェン:ピアノソナタ「悲愴」、アンダンテ・ファヴォリ、ピアノソナタ「ワルトシュタイン」



### ●11月3日(祝・火) 14:30～ テレマン「ハンブルク四重奏曲」全曲演奏会Vol.2

演奏:古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」  
 バロックヴァイオリン:小野万里 フラウト・トラヴェルソ:国枝俊太郎  
 バロックチェロ:高橋弘治 チェンバロ:岡田龍之介  
 G.Ph.テレマンの「ハンブルク四重奏曲」(1730年)より協奏曲第2番、ソナタ第2番、組曲第2番 他

### ●11月29日(日) 14:30～

武久源造レクチャーコンサート～適正律を巡って～  
 J.S.バッハ:「適正律クラヴィア曲集」第1巻より 第1番 ハ長調、第2番 ハ短調、第5番 ニ長調、第10番 ホ短調、第20番 イ短調  
 「適正律クラヴィア曲集」第2巻より 第1番 ハ長調、第8番 ヘ長調第20番 イ短調 他

使用楽器

ジルバーマン・ピアノ:深町研太 2007年製作(ボツダム・サンサーシー宮にある1747年製の楽器のレプリカ)⇒武久源造改良  
 ペダル・チェンバロ:フィリップ・タイアー 1993年製作(ハンブルク在クリスツィアン・ツェル1728年作に従う)

2021年

### ●1月15日(金) 19:00～近江楽堂(東京オペラシティ内)

1月16日(土) 15:30～西方音楽館  
 川口成彦 フォルテピアノリサイタル(ご予約開始:会員の方は8月下旬、一般の方は9月)

ララニヤガ バレンシアーナ ヘ長調  
 マルティ ファンダンゴ ニ短調  
 プラスコ・デ・ネブラ ソナタ ニ長調 op. 1-3  
 モーツァルト ピアノソナタ 第4番 変ホ長調 K. 282  
 ベートーヴェン ピアノソナタ 第4番 変ホ長調 op. 7  
 他



1月17日(日) 西方音楽館 フォルテピアノのレッスン1枠1時間、8枠まで

### ●2月23日(祝・火) 14:30～

高橋弘治 J.S.バッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会シリーズ第2回  
 (変別調弦スコルダトゥーラ)

J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第1番 G-dur BWV1007  
 :無伴奏チェロ組曲 第5番 c-moll BWV1011 (スコラダトゥーラ g-d-G-C)?  
 ドメニコ・ガブリエリ リチェルカーレより  
 ドメニコ・ガッリ 「音楽の楽しみ」より

### ●3月6日(土) 14:30～

渡邊響子(ヴァイオリン) & 南部由貴(ピアノ)デュオコンサート ～ウィーンの香り～

モーツァルト:ハーフナー・セレナーデよりロンド  
 シューベルト:ヴァイオリンソナタA Dur  
 シュトラウス:美しき青きドナウ  
 クライスラー:美しきロスマリン・黒人霊歌・ウィーン風行進曲 他



◆ 以下は、開催しますが、クラウドファンディングの対象にはならない催し

西方音楽館友の会主催  
 赤ちゃんとお母さんのための音楽会2020.8.10. 9.22. 10.15. 11.12. 12.8.  
 西方音楽館主催  
 木洩れ陽音楽談話室第42回 2020.8.23.14:30～ テルミンの演奏(りす音)  
 第43回 2020.12.12.13:00～& 14:30～ ピアノソロ (久保 亜未)  
 Wmusic 企画主催 2020.12.5. 13:00～ & 16:30～ 菊池亮太LIVE

## 西方音楽館友の会会員募集

西方音楽館友の会会員募集(毎年4月が更新の時期です)

A会員:3,000円(45名) B会員:10,000円(34名) S会員:50,000円 G会員:100,000円(8月1日現在会費をご納入の方)  
 それぞれコンサートへの特典があります。西方音楽館友の会主催コンサートは、会員の会費で支えられています。

西方音楽館友の会運営委員:中新井紀子(西方音楽館館長)、岡田龍之介(チェンバロ奏者)、小川和隆(ギタリスト)、木下大輔(作曲家)、  
 永田美穂(音楽学)、山村多恵子(オカリナ奏者)、高田良久(医師、下野楽遊代表)、中新井諒子(国立音大卒、クラリネット)



2020.8

## 木洩れ陽の窓から No.23

西方音楽館友の会会報

編集・発行人 中新井紀子

西方音楽館

322-0601

栃木県栃木市西方町金崎342-1 TEL 0282-92-2815 E-mail info@wmusic.jp Web http://wmusic.jp

## 音楽に何が出来るのか?

中新井紀子

新型コロナウイルス感染拡大の禍中において、音楽は一体何が出来るのだろうか?  
 病気を治すことも出来ない、死にゆく人を救うことも出来ない。貧困の中であえいでいる人を助けることも出来ない。更なる虐待に怯える子供を探し出すことも出来ない。

この非常事態の最中に、音楽に出来ることはあるのだろうか?  
 もう20年も前になるが、舅は胃潰瘍で入院後まもなく意識を無くした。酸素吸入と点滴で生かされているだけであった。ふと、思い立ち、舅が好きだった歌を、病室に通う度に歌ってみることにした。私にでも歌える歌、舅が生前口ずさんでいた歌「ロックローモンド」、「この道」、「浜辺の歌」、「椰子の実」、「知床の歌」等々、毎回4曲ほど。すると、意識がもう無いはずなのに、眼球が動き、手の指や足がもぞもぞ動くのである。聴覚は失われていない!、脳も死んではいないのでは?!と、大変驚いた。

好きな歌を聴くことで、死とは逆の方向、脳の活性化の方向へ、舅の体は反応したのである。残念ながらこのことで意識が戻るまでには至らず、意識を失ってから1か月ほどで亡くなってしまったが。しかしこの時、私は音楽の力を確信したのである。音楽は確かに脳を活性化させる、死とは逆の方向に人を向かわせる、と。

今、拙いながらモーツァルトのピアノソナタ17番KV570を練習している。いらだちや悲しみを抱えて弾いているのであるが、練習を重ねて音楽が見えてくると、そんなマイナスの感情は、美しさ、快活さ、楽しさなどに溢れるモーツァルトの音楽の前では、跡形もなく浄化されてしまうようだ。

ドイツの哲学者カントは「音楽は、単なる感官の楽しみにすぎない」と、低い評価を下したが、それは間違っていると思う。

昔、パイプオルガンばかりを弾いていたころ、その響きに包まれ、その音楽に圧倒されている時、私は、創造主と言えよのか、何か絶対的な存在に相對峙している感覚に、しばしば襲われた。このような音楽は、「感覚の楽しみ」どころではなく、カントの言葉を使うならば「崇高」の概念に属するものに他ならない。

言葉を使って意見を表明することは出来ない音楽だが、感覚を通してでしかやり取りが出来ない音楽であるが、感覚の奥深く幾重にも掘り下げ、楽しいばかりではなく、悲しみや苦しみに共感したり、絶対的なものへ導いたり、心に、精神に、魂に、大きく作用を及ぼすと思う。

やや落ち込んでいた時、「こんなに楽しいモーツァルトを聴くのは初めて!」という体験をしたら、「落ち込んでいる場合ではない!」と我に帰った経験もある。熱狂的なロックミュージックも、乗りに乗った後に心は鎮まる。

言葉を替えれば、音楽は人の心を整えることが出来るのではないだろうか?人の心が整えば、冷静に、曇りなき眼で世の中を見つめ、それは社会を変えていく原動力になるのではないだろうか?

### こ・ぼ・れ・話

新型コロナウイルス  
 感染拡大で、  
 窮地に陥る人々が増大。  
 知恵を絞り、生き抜き、  
 乗り切って欲しい!!!

中新井紀子